

生産者の取り組み事例

相双農林事務所

農林水産大臣賞に輝く、若きシクラメン生産者

小高町 根本雄二さん

小高町で鉢物栽培に取り組む根本園芸の後継者、根本雄二さんを紹介します。

根本さんは、「太平洋からの浜風で夏は涼しく、冬は晴天の日が多く暖かい」気象条件を生かしながら、約40aの施設でシクラメン、デンマークカクタス、クンシラン、ゼラニウム等の生産を行っています。現在、シクラメンとゼラニウムを担当し、ご両親、パートの皆さんとともに、真摯に生育管理に取り組む毎日です。



「一番技術が必要と言われているシクラメンを作りこなすことができれば、そのあとどんな品目でもつくれるから」という理由で、根本さんは、シクラメンを選び、高校卒業後、栃木県の先進農家で1年間研修しました。以前は、デンマークカクタスを柱にした経営でしたが、平成10年に就農と同時にシクラメン部門をスタートさせました。



根本さんは、一鉢ごとに十分に手を掛け、高品質を徹底的に追求するため、根本さんのシクラメンは、花色、葉の揃い、株のボリュームに定評があります。また、消費者の多様なニーズに合わせて、ミニから大鉢の生産を行い、直売にも対応しています。

根本さんは、相馬地方の鉢物生産者や栃木県の研修生仲間との交流を大事

にしながら自己研鑽に励み、基本に忠実な栽培に取り組んで、就農一年目から数々の品評会において入賞を納めてきました。平成13年には、シクラメン生産者なら誰もがめざす（社）日本花き生産協会主催「全国花き品評会シクラメンの部」で全国トップクラスの生産者を抑えて、農林水産大臣賞を受賞し、全国的にその名が知られるようになりました。さらに、平成14、15年とも3年連続で受賞するという快挙を成し遂げました。受賞後も謙虚な姿勢は変わらず、「これからも、消費者に喜んでもらえる商品を作っていきたい。」とのこと。今後も尚一層のご活躍を期待いたします。